もりんぴあタイムズ

第 33 号

2022 年 8 月 31 日発行

七夕や夏を視覚・聴覚から感じる

7 月のイベントといえば「七夕」。毎年恒例の七タインスタレーションが 1 階吹き抜けに飾られました。

今年は青のベース地に赤文字、赤のベース地に黒文字の『祭』と書かれたうちわがたくさん吊り下げられ、夏の灼熱さを感じる雰囲気がありながら、どこか涼しさも感じるインスタレーションになりました。なぜなら、エアコンの風によりうちわが左右になびく時があり、うちわで仰いでもらっているような感覚に陥るからです。

6 月 18 日(土)から 7 月 29 日(金)まで、中央階段の裏側の壁面に『お祭り』をイメージした浴衣や帯などが飾りつけられました。

こちらは以前に、『お正月』や『五月人形』の飾りつけを行って頂いた着付け教室講師の山口 恵子さんのご協力により実施しました。

飾りの中央にはお神輿が飾られ、その他に法被や浴衣、提灯が並び、まさに『お祭り』の雰囲気そのもの。

成田では祇園祭が実施されたものの、規制や制限があり、誰もが十分にお祭りが楽しめる状況ではありませんでした。

中止になっているお祭りもあり、そんな人たちに少しでも夏らしく、お祭り気分を味わってもらいたいという気持ちでいっぱいでした。その気持ちが伝わってか、展示と一緒に写真を撮っている姿を見るととても嬉しい気持ちになります。

7 月 3 日(日)には 2 階 MORI×MORI ホールでバリトン 西谷 光さん、ソプラノ 茂木 真由美さんを迎えて「七タコンサート」が行われました。

第 1 部では、西谷さん・茂木さんがそれぞれ日本の歌曲を独唱し、声楽家ならではの力強く表現力豊かな歌声が響き渡りました。第 2 部はこの日伴奏を担当した水嶋 友里さんによるピアノ独奏で 2 曲演奏され、声楽とは違った繊細な音を奏でていました。第 3 部では「夜の間に」など外国の歌を 4 曲お二人のハーモニーで歌いあげました。最後には特別出演の安永 暁海さんの朗読を加えて「七タものがたり」「星に願いを」を披露し、七タコンサートの幕はおりました。若手音楽家による演奏会に来場者からは「もっと大勢の方に聞いていただきたい」という感想がよせられました。

た。終演後、ホール前のホワイエでは「ウクライナに平和を」ということで、募金箱を設置して募金活動が行われ、多くの方にご協力いただき、8,286 円が集まりました。いただいた募金は成田市の担当課を通して寄付致しました。

貴重な戦争体験者のおはなし！

8 月 11 日(木)会議室 D･E で「平和の集い」が行われました。8 月 15 日には終戦から 77 年となりました。日本での戦争経験者は高齢化が進み、人数も少なくなってきたので、実際の経験をご本人から聞けるというのは、大変貴重なものになってきました。成田市平和啓発推進協議会の協力のもと、今回は佐藤 弘子さんに戦争中の生活の様子、山岸 美智子さんに学童疎開についてお話していただきました。

今、世界ではロシアとウクライナの戦争だけでなく、シリア内戦やイエメン内戦など世界各地で人道的危機がおこっています。日本は憲法により戦争と国際紛争を解決する手段としての武力行使を放棄しており、政府も積極的平和主義を掲げています。他国のこと、過去のことではなく、世界情勢・歴史の教訓を学び、世界平和について、少しでも考える機会になったら嬉しい限りです。

ヘアアレンジにチャレンジ！！

6 月 5 日(日)に会議室 D･E で「親子で参加　かんたんヘアアレンジ講座」が行われ、11 組 22 名の親子が参加しました。

公津の杜にある美容室 NaNa より千葉 麻広さん、系列店の Weve より堀井 麻衣さんが講師となり髪のプロである美容師からかんたんで可愛いヘアアレンジを学びました。

まずは基本の編み方として、「くるりんぱ・ロープ編み・三つ編み」を学び、それぞれを組み合わせてアレンジを完成させました。子どもの髪は柔らかくセットするのは難しいのですが、プロならではのポイントを教えてもらいながら、仕上げることができました。

出来上がった髪をみた子どもたちからは自然と笑みがあふれ出し、それを見た保護者の方も満足そうな顔が見受けられました。学んだアレンジを繰り返すことにより、親子の絆が深まるのではないでしょうか。

ピカピカメダル作成時にトラブル

8 月 10 日(水)に 3 階工芸スタジオで「夏休み工作教室　ピカピカメダル作り」が行われ、午前の部・午後の部あわせて 16 名の子どもたちが世界にひとつだけのメダルを作りました。

鋳造作家の本山 ひろ子さん指導のもと、糸鋸で鋳型を好きな形に切り、そこに錫を流し込んで形成し、出来たものにヤスリをかけて仕上げていきます。

流し込む錫を IH ヒーターで溶かしてみるとなかなか温度が上がらず、流し込むのにふさわしい柔らかさになりませんでした。急遽、近くのギャラリーのガスコンロを使用させてもらい、事なきを得ました。

図書館だより

杜のなつやすみおはなしかい開催

7 月 26 日（火）に、MORI×MORI ホールで「杜のなつやすみおはなしかい」を開催しました。当日は 27 名の方にご参加いただきました。
おはなしかいが始まってカリンバの音色が聞こえると、子どもたちはおはなしの世界に入りこんでいきました。大型絵本『おばけのてんぷら』、大型絵本『こんたのさかなつり』では、一枚一枚めくられていくページに興味津々で聞いてくれました。また、エプロンシアター「若がえりの水」、おはなし「ミアッカどん」では、おはなし終盤の展開で驚いて声をあげている子もいました。最後にまたカリンバの音色が聞こえて、おはなしの世界から戻ってくると、子どもたちは満喫した様子でした。

ストレスの対処方法について考える

7 月 2 日(土)、2 年半ぶりに『杜の保健室』を開催しました。
杜の保健室は地域医療機関と共同で公津の杜地区及び周辺エリアの皆さまの「健康な暮らしづくり」をともに考える場と企画されました。
コロナや戦争など心が痛むニュースが多い昨今。日常生活でも多少なりともストレスを抱えているのではないでしょうか。そんなストレスを成田赤十字病院の看護師 木戸 美由喜さんと考えました。

コロナの影響で 3 年連続中止に

例年 5 月･6 月には出演者･出展者･出店者の募集を行っていた 9 月開催の「もりんぴあフェスティバル」。感染対策や規模の縮小を念頭に置いて、開催に向けて準備を行い、7 月 1 日に開催決定を発表しました。
しかし、7 月に入りオミクロン株の系統で「BA.2.75」「BA.5」と呼ばれる変異ウイルスにより、感染が拡大。関係各所と協議を重ね、苦渋の選択ではありましたが、『中止』の発表を 7 月 23 日に行いました。来年こそは実施できることを願います。

なかよしひろばだより

運動遊びをホールで開催しました

8月20日に親子で楽しむ“運動遊び”を午前、午後の 2 回開催しました。3年連続で参加する親子もいるほどの人気で、今年も多くの親子が参加しました。講師の堀内亮輔さんは保育大学講師で、『おかあさんといっしょ』のニンニンにんじゃしゅぎょうの監修や全国で運動遊などの講師としても活躍しています。
まずはミニレクチャーで、遊んで体を動かすことの大切さを堀内さんがわかりやすくお話してくれました。その後いよいよ遊びの時間。パパママが子どもを抱っこして揺らしたり、大きなバルーンの下を一緒に走ったり、と親子でたくさん体を使って遊びました。また、タオルを使っての遊びや新聞紙とアルミホイルで作るフリスビーなど、身近なものでも工夫次第で遊べることも体験しました。
参加したパパママからは「子どもたちがコロナ禍でのびのびと体を動かせなかったので、今日はいっぱい遊べて良かったです」「道具がなくても家で遊べることがわかりました」との感想が寄せられました。

おまけの１枚

7 月 14 日、公津の杜 3 丁目･5 丁目で停電が発生。当館は 4 丁目なので、停電にはなりませんでしたが、目の前の信号が消灯。小学生の下校時間のため、先生が子どもたちを誘導していました。現在の暮らし、電気がないと大変なことばかり。

編　集　後　記

父方の実家に帰省しました。実家は何年か前に建て替えており、子どもの頃に遊んだり、泊まった家とは違う佇まい。しかし、変わらないものが 1 つ。呼ばれ方。いい歳の大人が親戚から下の名前の「君付け」で呼ばれる。そこだけは、うん 10 年経っても変わらない。冷静に考えると小っ恥ずかしい。（K）

真夏、広島旅行へ行き、車で尾道市と今治市を結ぶ「しまなみ海道」を突っ走った。太陽がまぶしく、潮の匂いを感じることができ最高だった。その足で、広島市内の原爆ドーム、平和記念資料館に出向いた時、表情は一変した。核兵器のない平和な世界をつくることが人類の使命であると強く感じた。（T）

公津の杜コミュニティセンター
（指定管理者　アクティオ株式会社）
発行人：竹尾 裕之　　編集：鹿嶋 聡明
〒286-0048　千葉県成田市公津の杜４丁目８番地
TEL：0476－27－5252　FAX：0476－27－5353
E-mail：info-kozu@morinpiakozu.jp　HP：http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあこうづ
MorinpiaKozu